

公益社団法人鹿嶋市シルバー人材センター
令和8年度 事業計画書

I 基本方針

近年、物価上昇や人手不足の進行、地域経済の変化など、社会経済情勢は大きく変動しています。一方で少子高齢化進展に伴い、高齢者の就業機会の確保と生きがいづくり、並びに地域社会を支える担い手としての役割は一層重要性を増しています。

このような状況を踏まえ、当センターでは高齢者がこれまで培ってきた知識・技能・経験を活かし、安心して働くことができる多様な就業機会の確保・提供に務めるとともに、地域ニーズに柔軟に対応したサービスの充実を図ることにより地域社会の活性化に貢献できればと考えます。

フリーランス法については会員が安心・安全に就業できるよう諸条件を明示し「請負・委任契約は新たな契約方法により進めるものとします。」

また、公益法人制度改革の趣旨に則り、ガバナンスの強化、財務規律の確保及び整備を進めセンター運営を推進します。

会員数については前年度若干の増となりましたが、本年度も引き続き会員拡大を最重要課題として取り組む必要があります。全シ協が推奨する「新たな仲間づくり計画」に取り組み、特に女性会員の獲得や退会抑制についても取り組まなくてはなりません。派遣事業の推進においては、事業所の担当者にシルバー人材センターが何をしているところで、何を依頼できるのか詳しく説明し就業拡大に努めます。

令和7年度から独自事業（野菜・花苗・手芸品）の販売強化に取り組んでいるところですが、現在ではお客様が定着してまいりました。令和8年度は、協力会員を増員し更なる売上増強に努めます。

II 事業

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業

- ① 積極的に就業機会の確保に努めます。
- ② フリーランス新法においては、適切な対応と新たな契約を円滑に進めます。
- ③ 会員の主体的運営を推進するとともに、後継者の育成に努めます。
- ④ 会員の協力による1人1仕事運動を推進します。
- ⑤ 鹿嶋市と連携し介護予防・生活支援総合事業を推進します。

(2) 独自事業

- ① リサイクル事業その他の事業の拡充を図ります。
- ② 市内のイベント等への積極的参加により販路の拡大を図ります。
- ③ 青空市の販売強化に努めます。

(3) 指定管理事業

- ① 鹿嶋市指定管理者制度に基づく業務の受託
 - ・東洋計測ステーションウエストパーク（鹿嶋市営鹿島神宮駅西駐車場）
- ② 鹿嶋市営鹿島神宮駅西駐車場において、利用者の獲得と更なる利用者へのサービス向上に努めます。
- ③ 新料金体制の整備に努めます。

(4) 一般労働者派遣事業

- ① 新規受注先、特にスーパーマーケット・ホームセンターの開拓を推進します。
- ② 県シ連と連携し、資質向上のための研修を実施します。

2 調査研究事業

- ① 新たな就業分野を開拓するため、情報の収集に努めます。
- ② 需給のミスマッチを解消するため、地域ニーズの分析などとともに会員拡大のための調査を行います。

3 相談事業

- ① 入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を毎月開催します。
- ② 就業を希望する高齢者に対し、随時就業相談を実施します。

4 研修・講習事業

- ① 需要の多い職種について技能を高めるための講習会を実施します。
特に、植木せん定・除草作業等の講習会を充実します。
また、学童保育補助員として就業するための研修を実施します。
- ② 県シ連と共催し育成事業による講習会を開催し高齢者の就業を支援します。

5 普及啓発事業

- ① センター広報紙を新聞折込により全戸配布します。
- ② 広報かしま及びタウン情報紙・エフエムかしま等を効果的に活用し、入会案内及び仕事の案内を積極的に宣伝します。
- ③ 市内のイベント等へ積極的に参加し、PR活動に努めます。
- ④ 新聞等メディアへ随時情報提供し、事業のPRに努めます。

6 安全・適正就業推進事業

- ① 安全就業月間（7月）を設け、安全ニュースを全会員に配布し、安全に対する意識の醸成に努めます。
- ② 安全衛生委員会によるパトロールを定期的の実施し事故撲滅に努めます。
- ③ 交通安全に関わる講習会を実施します。また、就業場所等における突発的な事故に対応するため、普通救命講習会を実施します。
- ④ 就業に際し、健康面に注意を促すため、市民健康診断の受診を奨励します。
- ⑤ 就業機会の公平化を図るため、就業の分かち合いやローテーション就業を積極的に推進します。

Ⅲ 法人管理部門

1 会員の状況

会員拡大が急務です。依頼された仕事も対応できる会員が不足しているため取りこぼす状況となっています。特に女性会員増強に努めます。

2 組織活動と事務局体制

センターの運営及び事業の推進には、国・県・鹿嶋市・全シ協・県シ連などと緊密な連携が必要です。そのため、各種研修会や会議等を通じて適宜適切な情報交換や協議を行うなかで、シルバー事業に対し指導・相談及び助言を求めながら、関係団体等と連携し、円滑な事業運営を図ります。

- ① 定款に基づく定時総会、理事会の開催と監査を実施します。
- ② 全シ協・県シ連等主催の研修会に参加し、役職員の資質向上を図ります。
- ③ 鹿行ブロック協議会の連携を密にし、情報交換や交流・研修を通じて役職員の資質向上を図ります。